

一般社団法人日本遺伝性腫瘍学会  
2022年度第1回理事会 議事録

日時：2022年6月16日（木） 12:30~14:00  
場所：岡山コンベンションセンター（現地, zoom）

出席者： 理事長 石田 秀行  
副理事長 青木 大輔(web) 鈴木 眞一  
理事 赤木 究 石川 秀樹 大住 省三(web) 川崎 優子(web) 下平 秀樹  
杉本 健樹 田中屋宏爾 田村智英子 平田 敬治 吉田 輝彦(web)  
監事 武田 祐子 田村 和朗

司法書士 寺本 俊孝  
事務局：石坂 和子 内山 覚巳  
編集事務局：岡田 雅子(web)

理事13名、監事2名全員が出席し、web（zoom）による出席者の音声即時に他の出席者に伝わり、出席者が一堂に会するのと同様に適時的確な意見表明が互いにできる状態にあり、本会が成立することが確認された。

【報告・審議事項】

1. 理事長報告

石田理事長より配布資料にもとづき、以下に関して報告された。

- ・一般財団法人未来医療推進機構との連携に関する協定書の締結
- ・「遺伝性腫瘍専門医テキストブック」、「遺伝性腫瘍ケーススタディ100」の発刊・納本・出版契約について
  - ・次期理事会体制について
  - ・ポストコロナ時代の学術集会に関する会員アンケート予定
  - ・学術集会における市民公開講座・患者会のあり方について

2. 庶務報告

事務局から配布資料にもとづき、会員数、新規入会者、会費納入状況（2022年5月31日現在）について資料提示・説明があった。

3. 各種委員会報告・審議

①総務委員会：平田理事

配布資料にもとづき、前回理事会以降の通信理事会決議事項、理事選挙結果について報告された。

②財務委員会：青木理事

配布資料にもとづき、2021 年度一般会計、特別会計のそれぞれ財産目録、貸借対照表、正味財産増減計算書が説明された。また 2022 年度より特別会計が一般会計に組み込まれることが報告された。武田監事・田村監事から、会計監査について、帳簿、諸書類を照合の結果、相違ないことが報告された。2021 年度決算は承認された。

③会則委員会：鈴木理事

報告事項なし。

④編集委員会：下平理事

配布資料にもとづき、「遺伝性腫瘍」の発刊状況、投稿論文審査状況について報告された。

⑤学術・教育委員会：赤木理事

報告事項なし。

⑥専門医・HTC/FTC 制度委員会：田中屋理事、川崎理事

田中屋理事より、委員の退任、後任について報告があった。

川崎理事より、HTC 認定試験 認定状況についてダブルカウントがあったため、再度報告された。

⑦遺伝性腫瘍セミナー委員会：吉田理事

配布資料にもとづき、第 25 回遺伝性腫瘍セミナーの準備状況について報告された。

7 月から参加募集を開始する予定で、今後も Web 開催を継続していく見込みであること、また新体制の委員会で活動していく予定であることが報告された。

⑧将来検討委員会：石田理事長

学術集会後にポストコロナ時代の学術集会に関する会員へのアンケート調査をする予定であることが報告された。

⑨ガイドライン委員会：大住理事

報告事項なし

⑩倫理審査委員会：杉本理事

配布資料にもとづき、下記のことが報告された。

- ・「Cowden 症候群/PTEN Hamartoma Tumor Syndrome(PHTS)前向き登録コホート研究」の承認
- ・学術集会の演題応募におけるカテゴリー分類とフローチャートおよびカテゴリー毎の倫理手続きについては現状のものを継続する
- ・学術集会への個々の応募演題の倫理審査の義務化等については段階的に行っていく

⑪COI 委員会：大住理事

遺伝性腫瘍研究の利益相反状態開示に関する指針細則について、文言の修正を行うことが報告された。

⑫広報委員会：川崎理事

配布資料にもとづき、ホームページ改変状況ならびにニュースレター配信状況について報告された。

⑬国際委員会：田村智英子理事

報告事項なし。

⑭遺伝カウンセリング委員会：杉本理事

報告事項なし。

⑮がんゲノム・データベース（GDB）委員会：赤木理事

資料に基づき、がんゲノム・データベース委員会 2022 年度予算の執行予定がない旨について報告された。

⑯作業部会委員会：石川理事

配布資料にもとづき、下記のことが報告された。

- ・Cowden 症候群／PTEN 過誤腫性症候群部会の活動報告
- ・Li-Fraumeni 症候群（LFS）部会の活動報告

審議事項として、新規の部会（serrated polyposis syndrome: SPS 部会）申請提案があった。方向性について異論はなかったが、提案書の内容ならびに部会員リスト（本学会未入会者の存在、遺伝子解析や病理分野の専門家の追加）について再検討の上、改めて申請をお願いすることになった。

4. その他

- ・大腸癌研究会 遺伝性大腸癌診療ガイドライン 2024 年版 作成委員会について：田中屋理事  
作成委員について本学会からの協力者リストについて報告があった。

- ・30 周年記念事業：石川理事

配布資料にもとづき、委員メンバー、記念式典のアンケートについて報告があった。

- ・大住理事より、配布資料にもとづき本学会が後援する第 14 回遺伝カウンセラーのための実践集中講座の開催概要について報告された。

- ・第 31 回学術集会会長の件

第 31 回学術集会会長候補選出について、産業医科大学 第一外科 平田敬治理事が会長として内定した。

以上をもって議事の全部を終了し、議長は 14 時 00 分閉会を宣した。

以上